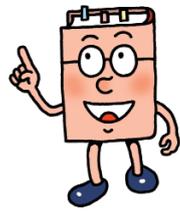


新しい漢字を学ぼう

1

●こので学ぶ漢字は、16ページから37ページで使われています。



1 — の漢字に気をつけて、つぎの文を読みま
しよひ。

- ① 中央の階だんを上ってください。
- ② 上級生に漢字の読み方を教わった。
- ③ 新学期をむかえて、はりきっている。

④ あやまったら気持ちが軽くなった。

⑤ ころんで、ひざから少し血が出た。

⑥ 家ぞくで、海に近いみん宿にとまった。

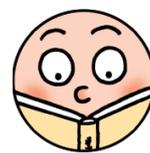
⑦ つな引きで、ぼくたちが勝った。

2 つぎの文しよつを読みましよう。

姉が合宿から帰ってきた。かばんを、二階のへ

やまで持っていってあげた。

<ul style="list-style-type: none"> ・キユウ 	<p>級</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キ 	<p>期</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学級会 ・上級生 	<p>級級級級級級級級級</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・期間 ・一学期 	<p>期期期期期期期期期</p>
	<p>9画</p>		<p>12画</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・シヨウ ・かつ 	<p>勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シユク ・やど／やどる／やど す 	<p>宿</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆう勝 ・うち勝 つ 	<p>勝勝勝勝勝勝勝勝勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宿直室 ・雨宿り 	<p>宿宿宿宿宿宿宿宿宿</p>
	<p>12画</p>		<p>11画</p>



場面の様子を思い浮かべながら読もう

おにたのぼっし

あまん きみこ 作
くろい けん 健 絵
黒井 健 絵

せつ分の夜のことです。

まこと君が、元気に豆まきを始めました。

らぼ らぼ らぼ らぼ らぼ

まこと君はいりたての豆を、力いっぱい投げました。

「福はあ内。おにはあ外。」

茶の間も、客間も子どもべやも、台所も、げんかんも手あらいも、ていねいにまきました。そこで、まこと君は、

「そつだ、物おき小屋にも、まかなくっちゃ。」
と言いました。

その物おき小屋の天じょうに、去年の春から、小さな黒おにの子どもが住んでいました。「おにた」

という名前でした。

おにたは、気のいいおにでした。

きのうも、まこと君に、なくしたビー玉を、こっそり拾ってきてやりました。この前は、にわか雨のとき、ほし物を、茶の間に投げこんでおきました。お父さんのくつをび



かぴかに光らせておいたこともあります。

でも、だれも、おにたがしたとは気がつきません。はずかしがりやのおにたは、見えないように、とても用心していたからです。

豆まきの音を聞きながら、おにたは思いました。

（人間っておかしいな。おには悪いって、決めているんだから。おににも、いろいろあるのにな。）

★気のいい

★用心する